

文政九年戌の三月三日

板元 和泉屋又玄精



四條北側
大芝居
歌舞妓
柱言番附

代名 貞徳長天宗

時、都の東山風流好まむ優男
名馬の御多是は又妖術故の室の
紛失静る四海浪切丸丸の叙乃
徳兵衛の異名を呼ぶ云々
真向の青楓とて前脱後川と為り
累惟字著如う彼水中の早替を
故事と爰小集して歌舞舞妓の榮

千代目 貞徳長天宗

聞書七冊

一第 壹

柳ヶ浦両舎子殿

一第 貳

宗觀在鋪子殿

一第 参

野宿乃里子殿

一第 肆

名古産籠子殿

一第 伍

西園廣小路子殿

一第 陸

重井筒子殿

一第 七

与右湯門内子殿

一第 八

平井祭禮子殿

長
三
小
大
三
長

寄
法
中
村
西
村
中
村
中
村
中
村
中
村
中
村

柱言作若

孫河桑
松
三
三
三

段者 稽り 名附別 寄り